

2024 年度 I 学期始業式（中学） 式辞

おはようございます。2024 年度（令和 6 年度）が今日から始まります。

武家屋敷門や校庭はまさに桜花爛漫、みなさんの新たなスタートを祝福しているようです。

武家屋敷門の手前、通学路からすぐ見える場所に、3 月に植樹した創立 120 周年記念の 2 本の桜が、10 輪ほど可愛い花をつけていました。新しい場所で根を張り、若葉をつけ、花を咲かせる生命力に感動し、しばし見ていました。風雨に折れることなく、しっかりとした幹に育って、皆さんを見守って欲しいと思います。

山脇学園は創立 121 年目を歩み始めました。山脇生一人ひとりがこれからの学園の歴史をつくります。みんなで素敵な学園を創れば、その中で過ごすすべての山脇生が、よりよい学園生活をつくることができます。

今年度の山脇生の目標は、1.「礼節・協働」2.「チャレンジとアクション」3.「自走・自治・俯瞰」です。もう意味はよく分かっている、と思いますが、年度のスタートにあたり、その意味をもう一度振り返ってみてください。

3 つ目の最後に、昨年までにはなかった「俯瞰」を入れました。これまで何度か話してきた「Bird's view」のことです。何かに頑張ろうとするときにはつい、視野が狭くなりがちですが、高い場所から全体を見渡して、自分の立ち位置や進捗状況を知り、関わっている人のことに思いを馳せることを忘れずにいて欲しい、という思いを込めました。

今日から新たな学年・新しいクラスで、新しい友だち、新しい先生との学びが始まります。ドキドキしているのは、皆同じですし、みんなと仲良くなりたい、いいクラスにしたい、と考えているのも皆同じです。緊張を分け合い、ドキドキをワクワクに変えて、どうぞ素敵なスタートを切ってください。

スタートラインに立っている皆さんに、今日は敢えて「いったん立ち止まる大切さ」をお話したいと思います。「人は新しいことを始めるときに、自分の立ち位置を理解することで成長する」と言ったのはジョン・カルヴァン・マクスウェルです。彼の著書『自分が変わるための 15 の成長戦略』には、新しいことを始めるときや挑戦しようというときにこそ、「内省」することが必要だと書かれています。「内省」とは「内を省みる」と書きます。実際に自分に起こった出来事を客観的に振り返り、そこから自分自身について見つめ直す行為のことで、リフレクションとも呼ばれます。

『魔女の宅急便』という映画を知っていますか。初演は 30 数年前ですが、今も色あせることのない宮崎駿監督の代表作です。先日 TV で放映していたので、久しぶりに見ていたら、初めてこの映画を映画館で観たときの大学院時代の自分のことを思い出しました。ピアノの研鑽のためにウィーンに短期留学したのですが、各国から来ている留学生の個性や主張溢れる音楽表現に驚き、打ちのめさ

れていました。自分のやってきた勉強はなんだったんだろう、自分の表現とは何だろう、私の本当にやりたいこととは何なんだろう、と帰国してから悶々としていました。そんな時に、たまたま映画館で一人で観た『魔女の宅急便』の一場面が私の胸に刺さったのです。

主人公キキは、魔法使いの修行に出ますが、修行中の街で、スランプに陥ります。傷心のまま、人里離れた森の中で絵を描く画家の友だちの女の子を訪ねます。

キキが「魔法が弱くなってほうきで飛べなくなっちゃった」と悩みを訴えると、その画家の女の子は「魔法も絵も似てるんだね。私もよく描けなくなるよ」と答えます。

キキが「そういう時はどうするの？」と聴くと、彼女はこう答えます。

「そういう時はジタバタするしかないよ。描いて、描いて、描きまくる！」

「それでも描けなかったら？」とキキ。

「描くのをやめる。散歩したり、景色を見たり… 昼寝したり、何もしない。そのうちに急に描きたくなるんだよ」「絵描きになろうと決めたときは、描くのが楽しくて寝るのが惜しいくらいだった、でもある日全然書けなくなっちゃった。何を描いても気に入らなくなつて。」「それまでの絵が誰かの真似だって分かったんだよ。どこかで見たことがあるってね。自分の絵を描かなきゃって」

「苦しくないの？」

「今も苦しいよ。でも少し前より、絵を描くってことがわかったみたい」「魔女の血、絵描きの血、パン職人の血。神さまか誰かがくれた力なんだよね。」

当時の私に刺さったのはこのシーンです。映画館の座席で、涙をボロボロ流して観ていました。そして「私の血」とは一体なんだろうと考えたのでした。音楽を学び続けてきた自分を通して、音楽で人を育むことができる、と考えて、教員の道に真剣に向かい始めたのは、それからしばらくしてからのことです。

話の冒頭で紹介したマクスウェルはこう言っています。「どんな経験も最高の教師。立ち止まって内省することで経験は見識に代わり、より深みのある人生を生きていくことができる」「つらい経験をしたとしても立ち直り、成長した自分に出会える人と、いつまでもそこにはまって抜け出せない人の違いは、“問題にどう立ち向かうか” その心構えの違いにある。新たな環境や逆境を貴重な経験として敢然と引き受ける人は、どんな状況にあっても力強く生きていけるだろう」

「魔女の宅急便」と「マクスウェルのことば」がみなさんの中で繋がることを願います。「今の自分」を内省し、しっかりとらえることを出発点にして、あなただけの一年の目標を立ててください。その目標に真剣に取り組む中から、「自分の血」とはなにかに気づき、「あなたの志」につながっていくのだと思います。

毎日の学園生活をあなた自身が充実させ、来年の桜の季節に「なっていたい自分」になれていますようお願い、今年度始業のことばと致します。